

格子(ラティス)の哲学



自由の相互承認

～みんなが安心して過ごせる学校にするために～

学校や社会でよく使われる「自由」という言葉。これは、「好きなことを何でもやっていい」という意味ではありません。本当の自由を知るためのキーワードが、「自由の相互承認」です。

一言でいうと、「自分の自由を大切にしたいなら、周りの人の自由も同じように大切にしよう」ということです。

1 「わがまま」と「自由」は違う

「何をやっても個人の自由」と自分の都合だけで動くのは、ただの「わがまま」です。全員が同じように自由な権利を持っています。だから、自分が自由に動いた結果、誰かの自由(静かに学ぶ権利や、傷つけない権利など)を奪うことは絶対に認められません。

「ここまではOKだけど、ここからは相手に迷惑がかかる」というラインを話し合って決めて共有していくことが本当の自由です。

2 なぜルール(法律や校則)があるの?

誰だって「自分の思い通りにしたい!」という気持ちがあります。それは悪いことではなく、それは「自分も他人も同じなんだ」と認めることから始まります。

でも、全員がそれぞれ思い通りに動いたら必ずぶつかりますね。そこで、みんなで安心して暮らすために、次のような境界線を引くのです。

「私は自由を邪魔されたくない。だから、私もあなたの自由を邪魔しない」。この人と人との約束を、社会全体のルールにしたものが、私たちがよく知る「法律」や「権利」です。

3 学校は社会の「練習の場」

学校は、このルールを実際に体験しながら学ぶ「社会」です。先生たちも、この「お互いの自由を認め合うこと」をととても大切にしています。先生同士が「お互いを否定せず助け合う」姿を見せることが、みんなが社会に出るための「一番の教科書」になっています。学校が安心できる場所になれば、みんなも全力で好きなことに挑戦できるようになります。

目指したいのは「カッコいいチームワーク」。

「あなたと私は違う人間。だからこそ、お互いの邪魔をせず、助け合えるルールを一緒に作ろう」という、お互いを自立した人間としてリスペクトし合う、スマートでカッコいいつながりです。そんな「お互いを認め合える学校」を、みんなで一緒に作っていきませんか?

せりよさ 課題研究探究別科エントーン

5月15日(金)の3・4時間目に2年普通科の「せりよさ」と2年商業科「課題研究」の授業で探究別の別科エントーンが行われました。2年生全生徒がそれぞれの4コースに分かれた別科エントーンが実施されました。本年度は、早稲田大学、名古屋大学、岐阜大学、CoIU、鹿児島大学等と連携します。1年間を通して、探究して、調査して、発表会に向けて取り組むために真剣な表情で説明を聞いていました。これからが楽しみです! !



第74回沖高体育祭

6月14日(日)、あいにくの雨でしたが、生徒職員が一丸となってグラウンド整備を行った結果、何とか開始にこぎ着けることができました。

午前中は応援団長紹介、沖高魂、しっぽ取り、棒回しリレー、障害物競走、フォークダンスをグラウンドで実施し、昼食を挟んで午後から、場所を体育館に移して、ボール蹴りリレー、エアー、応援合戦を実施しました。午前中はグラウンド、午後は体育館と、今までにない天候と格闘する体育祭となりましたが、生徒、保護者の方々、地域の方々のご協力のおかげで、記憶に残る素晴らしい体育祭となりました。



なお、実施できなかった種目は、6月19日(金)に体育祭第二部を行いました。晴天で夏の始まりを感じる暑さの中、100m走、綱引き、オールスターバトル(全学年混合編成による綱引き)、学年対抗リレーの4種目を実施しました。

結果は応援の部・競技の部ともに優勝は3年生。また学年対抗リレーについても3年生が新記録を樹立しました。

体育祭、文化祭、一日遠足、台湾・来義高校との交流など学校行事の多い「動」の1学期も締めくくりの時期になろうとしています。

4月からの3か月余りでひとり一人、大きく成長しました。1学期の締めくくり・振り返りをしっかりして、この夏に取り組む目標を定めて、一度しか来ない充実した令和8年の夏を過ごしましょう。この夏、何に挑戦しますか?